



## 記者発表事項



情報提供日	令和6年10月18日
担当課	スポーツ・文化振興課
内線	2432
担当者	歌津 レイナ

### 発表事項 令和6年度日向市文化賞受賞者の決定と授賞式の開催

日向市では、昭和43年から本市の文化の向上発達に関し、特に功績の顕著な方や団体に対して日向市文化賞を設定し顕彰しています。この度、下記のとおり、令和6年度の受賞者が決定し、授賞式を開催しますのでお知らせします。

#### 記

#### 1 受賞者

まつば とうきち  
松葉 藤吉 さん [一般部門]

#### 2 主な経歴

昭和46年～平成19年 八興運輸株式会社勤務（常務取締役にて退任）  
平成7年～現在 ハッコートラベル株式会社代表取締役  
平成15年～令和6年 日向市歴史観光ボランティアガイド「平兵衛さんの会」会長  
平成27年 宮崎県観光功労者表彰受賞（公益財団法人宮崎県観光協会）  
※平兵衛さんの会  
平成28年～令和4年 一般社団法人日向市観光協会会長  
平成28年～令和6年 公益財団法人日向文化振興事業団評議員長  
令和6年 「べらっと日向ガイドブック」発刊

#### 3 授賞式

日 時：令和6年11月3日（日曜日・文化の日） 午前10時～  
会 場：日向市役所 第1～3委員会室（4階）  
主な出席予定者：市長、議長、教育長ほか関係者20数名

## 資料 1 - 2

### 令和 6 年度日向市文化賞受賞者

- 受賞者氏名 松葉 藤吉 (まつば とうきち)
- 年 齢 昭和 1 9 年 1 0 月 2 0 日 生 ま れ ( 7 9 歳 )
- 住 所 日向市大字細島
- 受 賞 部 門 一般



#### <受賞理由>

松葉藤吉さんは、平成 1 5 年から日向市歴史観光ボランティアガイド「平兵衛さんの会」の会長として、長きにわたり地元の人々が知る伝承などを研究され、市内外の人々に本市の魅力や文化などを伝え続けてこられました。

「平兵衛さんの会」につきましては、本年 5 月に解散されましたが、これからの本市の観光案内の指南となるよう、6 月に「べらっと日向ガイドブック」を自費出版されました。

このガイドブックは、松葉さんの観光ボランティアガイド活動の集大成であり、本市の観光・伝承がまとめられた優れた著書です。

また、平成 2 8 年から令和 4 年までの 6 年間、日向市観光協会の会長として観光地域づくりを推進されるとともに、平成 2 8 年から令和 6 年までの 8 年間、公益財団法人日向文化振興事業団の評議員長を務められ、本市の文化事業の発展に大きく貢献されました。

こうした、松葉さんの歴史・観光分野等の多方面にわたる功績に対し、日向市文化賞を贈るものです。

#### <べらっと日向ガイドブック>

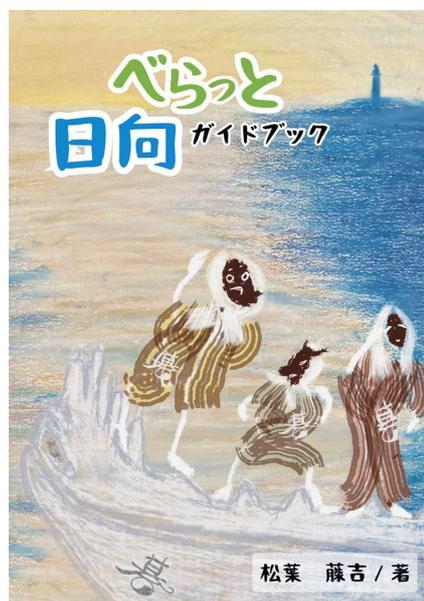
著書・発行者：松葉 藤吉

表紙イラスト：井手口 恵美

内 容：日向市内の 78 の名所旧跡・人物を  
伝承とともに収録

価 格：1 冊 1, 500 円 (税込)

※まちの駅とみたか物産館、  
若山牧水記念文学館等にて販売



## 資料 1 - 3

## これまでの受賞者（敬称略）

年 度	氏 名	部 門	功 績
昭和43年度	三尾 良次郎	学 術	著書「黒田の家臣物語」等による郷土史研究
	宮崎 正二	芸 術	絵画（油彩画）の研究（市美術協会会長）
	黒木 八百蔵	技 術	はまぐり基石加工技術
昭和44年度	伊達 小夜子	芸 術	バレエの研究・普及
	成合 袈裟義	技 術	日本刀研磨・鍛練の技術
	長友 重夫	体 育	弓道の普及（県体個人優勝3回）
昭和45年度	石川 筆一	技 術	鬼瓦づくりの技術（昭和33年天覧）
昭和46年度	刈川 水保	芸 術	絵画（油彩画）の研究（県美展連続入選）
昭和47年度	山元 一	体 育	柔道の普及（県選手権優勝・柔道場開設）
昭和48年度	田中 重治	一 般	学校医としての功績（40年間）
昭和49年度	山中 たから	芸 術	俳句普及に対する貢献及び作家としての文化振興
昭和50年度	該当者なし		
昭和51年度	甲斐 勝	学術・芸術	小説「小さな長い夏」郷土誌「天領と日向市」等の著作活動
昭和52年度	佐藤 正	一 般	文化振興に尽力（市文化協会初代会長、市教育委員長 etc）
昭和53年度	該当者なし		
昭和54年度	該当者なし		
昭和55年度	黒木 幹夫	体 育	ソフトボール競技の普及に尽力（全日本ソフトボール協会表彰）
昭和56年度	田村 栄市	体 育	軟式野球の普及に尽力（市体育協会会長歴任・市長表彰）
	黒木 一士	技 術	はまぐり基石の加工技術
	宮地 千代	芸 術	茶道の普及振興（淡交会全国表彰）
昭和57年度	大坪 静枝	芸 術	茶道の普及振興に尽力（県支部長歴任）
	塩月 景幸	芸 術	民謡の研究・普及に尽力（NHKのど自慢全国大会準優勝）
昭和58年度	該当者なし		
昭和59年度	武田 キクエ	芸 術	茶道の普及振興に尽力
	阪本 正男	体 育	軟式野球の普及に尽力（市体育協会会長歴任）
	黒木 倉吉	芸 術	短歌の研究・普及に尽力（「教育雑記くりあと随筆」等の著書）
昭和60年度	甲斐 正教	体 育	卓球・ソフトボール等の普及に尽力
昭和61年度	該当者なし		
昭和62年度	田中 道夫	芸 術	絵画（特に剪画部門）の研究（日本剪画大賞受賞）
昭和63年度	該当者なし		
平成元年度	該当者なし		
平成2年度	宮崎 清子	芸 術	茶道の普及振興に尽力（市茶道連盟会長）
	三股 富士雄	一 般	学校医としての功績及び市南部地区振興に尽力
平成3年度	佐々木 武彦	体 育	体育競技団体の育成・振興に尽力（市体育協会会長）
	伊藤 隆	一 般	文化財保護思想の普及及び細島地区振興に尽力（史談会会長）
	鈴木 政市	芸 術	書道の研究・普及に尽力（市書道協会会長・市美術展無鑑査作家）
平成4年度	和田 文男	一 般	医師会会長・学校医としての功績
	日向市民吹奏楽団	芸 術	音楽を通して市民の文化向上に多大な貢献
平成5年度	市原 正廣	芸 術	書道の研究・普及に尽力又、市文化団体の育成に多大な貢献
	佐々木 寛治郎	技 術	美々津和紙の研究製造・普及に尽力（宮崎県伝統工芸士）
平成6年度	鮫島 哲也	体育・一般	ソフトボール競技を通じ本市及び県内の体育に尽力
平成7年度	黒木 義男	芸 術	日向市内俳句連合会の指導と発展に尽力
平成8年度	該当者なし		
平成9年度	横川 美雄	体 育	ソフトボール競技の底辺の拡大と競技力の向上に多大なる貢献

平成10年度	該当者なし		
平成11年度	該当者なし		
平成12年度	小川 新一郎	芸 術	市内美術界の第一人者として後進の指導や文化振興に多大な貢献
平成13年度	長渡 万太郎	芸 術	各種俳句大会での受賞をはじめ、市内各派俳句会の一本化に尽力
平成14年度	該当者なし		
平成15年度	千代反田 泉	一 般	医療サービスの充実と発展、人材育成に尽力
平成16年度	該当者なし		
平成17年度	甲斐 文明	一 般	地域医療、救急医療そして学校医療の充実に貢献
	上杉 勇藏	一 般	古美術研究家、文化財保護を推進。(県の銃砲刀剣類登録審査員)
平成18年度	原田 和明	芸 術	日向市茶道連盟を結成し、茶の湯の普及に尽力
平成19年度	森迫 幹雄	一 般	幼児教育の推進に尽力し、教育文化向上へ貢献
	松葉 一路	技 術	刀鍛冶分野で日本伝統文化の推進に多大なる尽力
平成20年度	該当者なし		
平成21年度	西島 祐子	芸 術	バレエの指導者として教育普及推進に尽力
平成22年度	橘ひよっとこ踊り保存会	芸 術	市無形文化財の伝承保存活動に努める
	鈴木 幸男	一 般	「平兵衛酢」の栽培拡大に大きく寄与
	田崎 登保	一 般	市の観光振興に大きく貢献
平成23年度	花柳 絹太 (吉田美智代)	芸 術	永年、日向市舞踊連盟の中心を担い、本市の日舞界に貢献
	和田 勝典	芸 術	日向はまぐり碁石まつりの運営をとおり、碁碁文化の向上に寄与
平成24年度	黒木 伊知緒	芸 術	本市の短歌界を牽引
平成25年度	日向市東郷町若山牧水顕彰会	芸 術	若山牧水顕彰を通じて芸術文化の向上と地域振興に貢献
	桂 歌春	芸 術	落語家真打昇進、こども落語を通じ文化振興・情報発信に貢献
平成26年度	中島 弘明	一 般	中島記念館を設立し、芸術文化の向上発展に貢献
	柏田 芳美	体 育	日向地区バスケットボール協会長として青少年の健全育成に貢献
平成27年度	中村 恒雄	一 般	地域医療に尽力し、小児生活習慣病健診に取り組む
	和田 徹也	一 般	地域医療に尽力する傍ら、スポーツや音楽振興に貢献
平成28年度	坂本 淳	芸 術	書道および篆刻の分野で大きく貢献
	渡邊 康久	一 般	地域医療に尽力する傍ら、地域の文化向上に貢献
平成29年度	東村 吉市	芸 術	永年の短歌活動と牧水顕彰に加えて、芸術文化の向上に貢献
平成30年度	岩切 素子	芸 術	音楽を通じた日向の発信、国際交流活動に係る功績
令和元年度	大野 裕	一 般	環境保全意識の醸成、文化向上に係る功績
令和2年度	山本 榮	技 術	鍛冶職人としての長年の活躍とその技術に係る功績
令和3年度	三輪 純司	一 般	幅広い活動で、人・まちづくりに貢献
令和4年度	該当者なし		
令和5年度	瀧井 修	体育・一般	地域医療・地域福祉の向上に貢献 レクリエーション活動・スポーツの普及振興に尽力

■これまでの受賞者数 (令和5年度まで)

62個人+3団体

※部門別受賞者数68(1人にて複数部門受賞もあり)

・学術部門2 ・技術部門7 ・芸術部門29 ・体育部門11 ・一般功労19